



真夏の親里へ

こどもおちばがえり で感謝と喜びを

こどもおちばがえり期間 立教187年7月27日～8月4日



発行所
天理教夕張大教会
〒068-0029 北海道
岩見沢市9条西6丁目21
☎ 0126-22-1248
FAX 0126-23-7275
yubaridai146@gmail.com
ホームページ
bariten.main.jp

LINE 友達登録
お願いします

心のおたすけ

かつておちばにおいて、二段まで出来ていた石作りの甘露台が警察によって取りわれ、没収された時、その傍に榎の木が植えてあったそうです。事が済むとその木がその場で無惨に踏みじられており、おやさまはこれを眺めて、肅然としていらっしやいました。そこに居合わせた、ある信者さんが、おやさまのお姿を見て、「お気の毒な事でございます、おいたわしゅうございませ、十分お察し申し上げます。」と申し上げました。甘露台となる筈だった石を奪われ、さぞ残念なお心持ちであろうと察し、自分も信者として残念に思つての事でした。しかるにおやさまは、踏まれた榎の木を眺めて「あの木も可哀想やから、大事に心をかけて育てておくれ。」と仰いましたので、意外なお言葉に驚いたその方は、おやさまのお慈悲に只々恐れ入つて、すぐに榎を家に持ち帰り、老木となるまで大事に育てられました(その信者さんは植木屋さんだったのです)。との逸話が、高井猶吉先生のお話の中にございました。想像するに、世界たすけの中心となるべき甘露台の石普請が、反対する子供達(警察)に取り払われた事はもうお許しになり、それよりも、まだ生きようとしてゐる植木の命

お知らせ

婦人会第49回夕張支部総会 7月21日(日)

夕張団こどもおちばがえり 7月26、29日

夏のこども会 8月11日(日) 9時半受付

8月月次祭 8月15日(木) 9時半開扉献饌

みちのだいの育み塾 21日(水) 9時半受付

六月月次祭の様

に、心をお掛け下さり、さらにはそこに居合わせた子供達にも、心の遣い方を示されたのだと思います。「おやさまはかかる植木にまでも、限りなき愛をかけて満足を与えられたという事である。世界は総て慈悲をもつてつないでゆけば良い。慈悲より外になぐ道はない。」と猶吉先生は語つていらつしやいます。

私事ですが、精神のご身上や、そこから来る家庭の事情に悩む方のおたすけを与えて頂いた時に、大切にしている事がありませ。鮮やかに身上が治る事よりも、まずその人を抱えてこれまで生きてきた、ご家族の心が軽くなるよう心がけて対話する事です。今月、札幌でのおたすけ先のご家族が本州から来て、大教会に初めて参拝に見えますが、その家族は、「この難しい病気を持った息子が北海道で孤独になり、人様に迷惑もかけ、借金を負い、家族はどうすることも出来なかつたのが、こんなに良くして下さる天理教の方々に出会えて、本当にあの子は幸せです。」と頭を下げられます。また別の家族は「世の中捨てたもんやない。ほんまにありがたい。」と目を滲ませます。当人の身上が治つた訳ではありません。その後ろに居る家族の心に、おやさまが触れて下さつたのだと思います。

6月の15日は土曜日という事もあつて、いつもより家族で参拝に来られる方が多く、大教会は子どもの声で賑やかになっていた。

定刻9時半より開扉献饌。祭儀式のち祭文奏上。その後、座りづとめ・十二下りのてをどりが勤められた。少しづつ暑くなつて来たこともあり、殿内では大きな扇風機が使用されていた。

講話に先立ち、大教会長より辞令が渡され、新たに青年会の部属分会委員長2名と、少年会の隊長1名が任命され、当該の会長が辞令を受け取つていた。

講話には3月まで布教の家に入寮していた、祝梅分教会後継者の高橋悟志さんが立ち、「私は一年間、布教の家の愛知寮へ行かせていただきました。愛知寮は全部で6人いて、上が32歳、下が26歳で私は上から2番目でした。愛知寮には『日々コツコツ』というスローガンがあり、毎日少しづつコツコツと通らせていただくこと。続けるが誠。それが大きなご守護へと繋が

大教会長 藤田大和

るのだと教えていただきました。

7月に子どもおぢばがえり帰参15名という心定めをしました。5月から毎月子ども会をして、そこで子どもおぢばがえりのPRもしていました。第1回子ども会は近くの全ての小学校の運動会と被り、参加者ゼロ名という前人未踏の記録を樹立しました。しかし、それ以降は気合が入り、毎回100名近くの子どもが集まってくれました。終わってから思うと、第1回から上手くいかなかったからこそ、頑張ることができたかなと思います。

7月は話し合いの結果、ひたすら子どものいる家庭に子どもおぢばがえりのお誘いをするようになりました。ひたすらチラシを配ると、あつという間に15名集まりました。子ども会をきっかけに来てくれたり、以前に参加してくれた子がまわりを誘ってくれたそうで、初参加11名という有難い結果になりました。お子さんたちも絶対来年も行くと言ってくれ、大成功で終えることができました。

愛知ではたくさんの方々と出会い、通い先もたくさんできました。最初に私が初席を運んでもらった



祝梅分教会
高橋悟志

「災害救援ひのきしん隊基金」に協力ありがとうございます

能登半島被災地域への災害隊出動は6月を以て一旦終了となります。この間、夕張大教会からも募金を毎月おぢばへ運ばせて頂き、募金総額は120,042円でございました。

皆様の御厚意に謹んで御礼申し上げます。 大教会長 藤田大和

Y君は大学生でした。たまたま趣味が同じで、意気投合して、月1回くらい会うようになりました。Y君は宗教に興味があつて、天理教を教えるから信仰してみたらと、教務支庁に参拝してもらったり、天理教の話を色々させてもらいました。12月に別席のお誘いをするので、1月28日に初席を運んでもらえることとなり、一緒に傍聴しました。ようぼくになってから改めて聞くと、天理教の基本的なことをずっと説かれていたので、初心に戻ったような思いでした。Y君も喜んでくれて、終わった後に色々質問をされ、来てよかったと言ってもらえました。この後、一層仲良くなり、今でも連絡を取り合っています。

Iさんは80代の女性で、とても元氣な方でした。その方自身は曹洞宗の信仰をしていて、天理教の話に興味を持って聞いてくれてい

ました。Iさん自身、色々な人助けをする方で、目の見えない男性が出勤する時に一緒に駅まで行ってあげたり、ごはんを作つてあげたりしていました。そんなIさんですが、突然、不在の事が多くなりました。しばらくして家を訪ねた時に、大腿骨を骨折し、入院していたとのことで、色々話を聞くと、骨折した時、奇跡みたいなことがたくさん起こったそうです。たまたま弟さんが来ていて、その時に骨を折つたので、すぐに病院に行けた。そして、お医者さんが驚くくらいにすぐ退院できたそうです。そして、歩けなかった時期に、隣の目の見えない男性のサポートを、近所の友達のおさんたちがやってくれていたそうで、とても喜んでいました。

Iさんはずっと周りの人をたすけていて、その人から何か返ってくるわけではなく、巡り巡って自分がいざ困ったときに違うところから返ってくるもんだ、と言っていました。助けた相手に不足するのではなく、後の楽しみとして人を助けている方でした。また、なんでもチャレンジしないといけない、とよく言っていました。やってみないことには何にも変わらな

いから、とにかくやってみたらいいと言われ、にをいがけ、おたすけに歩いているのも素晴らしいこ

とだと言ってくれました。励ましの言葉を貰ったり、アドバイスをくれる、先生みたいな人でした。

布教の家では出会う方すべてと会いだと思われました。その中でも同期の寮生とは、深いいんねんがあるのだなと思えました。誰も知り合いではない状態から、仲良くなり、時にぶつかり合い、不足を合つた一年ではありましたが、相手を通して、自分のいんねんの自覚や足りないところを見せられ、成人させて貰えたと思います。

男6人で暮らしていると、色々なことに不足しがちで、「ほこり」を見せられることも多くありました。誰に対しても、相手を尊敬、尊重する気持ちや低い心が陽気ぐらしのカギとなっていくことに改めて気付かされました。内々が治まれば、よりよい結果を与えてもらえた、そんな一年だったと思います。

期間の終わる3月、おぢばでの卒寮の集いに参加した時のお話で、『布教の家の卒寮はやつと仮免許がとれただけ』と言われました。にをいがけおたすけは頑張ったら頑張っただけ成果が上がるものではないけども、日々コツコツと続けていくことで必ず最後には大きなご守護を頂けるのだと思います。今後も布教の家での気持ちを忘れ

ずに頑張っていきたいと思えます」と語った。

大教会長は挨拶で「年祭活動において、大教会ではひのきしんと少年会員をおぢばへ、と二つの事を申し上げますが、皆さんがご自身の教会や上級の教会へ運ばれて、ひのきしんをしている、ということを聞く度に、とても有難く、嬉しく思っています。また、大教会に心を寄せて下さる方が、私たちがいない間にも、草を刈ったり、花を植えたりして下さいます。本当に有難い事だと思えます。

昨日は直轄の信者さんの葬儀を勤めて参りました。大教会でも毎日お願いをして、御守護いただくように思っていたのですが、残念ながら出直されました。自分の無力感を感じたところではありましたが、葬儀の時に娘さんとお会いして、その方がまた、お若いのに難病で苦しんでおられる。出直されたお父さんが、娘のおたすけへと繋いで下さったんだ、と思つて、これから夫婦でおたすけに運ばせてもらおう、と誓つた次第です」と話された。

また先日出直された、錦之旗分教会の柴田英子六代会長の事を紹介し、これまでの尽力に感謝し、全員で黙とうを捧げた。

婦人会 みちのだい育み塾 開催

6月21日、第一回「みちのだい育み塾」が参加者16名（うち対象者6名）で行われました。

まず、座りづとめを全員で勤めさせていただき、その後、支部長である奥様と担当者より「母親講座」から「みちのだい育み塾」に変わった経緯、本会の思い、これからの具体的な活動についてのお話がありました。

その後はYouTube 陽気チャンネルから、参加者と同じ年代でもある本部婦人の梶本たけの奥様のお話『たかちゃんとともに』を視聴しました。

昼食は婦人会ひのきしんの方の美味しい手作りランチを和気あいあいと、みんなでいただきました。

午後からは、まずゲームで大いに盛り上がり、フリートークも打ち解けた雰囲気の中で話が弾みました。

最後にアンケートをお願いして、揃って神殿で参拝、解散となりました。

一緒に来ていた子供達は家族の方や婦人会託児ひのきしんの方がお世話くださいましたので、参加者はひととき子供を離れ、有意義な時間を過ごす事が出来たのではないかと思います。

名称は変わっても、今までの母親講座の活動に婦人会夕張支部として丹精に心を尽くしてきた思いに変わりはありません。今後ともご協力の程、よろしく願いいたします。

(高橋多江子)



ひのきしんと感謝の心 修養科九九四期修了 松尾 柊斗（継立）

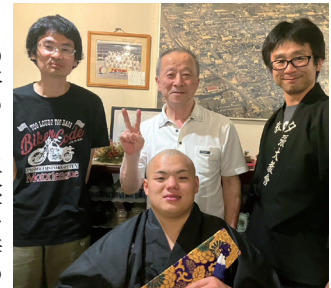
俺と、じじ

自分の周りには、じじ（祖父、継立分教会長、松尾澄夫）以外に信仰している人がいなくて小さい時は、休みの日は月次祭の準備や掃除などをしに教会に連れて行ってもらっていました。その時の心情は、兄弟と離れて、僕だけをお祭りに連れて行ってくれたり、プール遊びなどをしてくれるからすんごい楽しく感じていました。

中学に上がってからは、親が離婚したこともあって天理教やじじとは少し距離が空き、高校は部活が忙しく、引退してから、何度か教会に行ったり、じじとおぢばへ帰って来たりしていました。大学は大阪の大学に進学して、じじはほぼ毎月おぢば帰りをするので、自分もおぢばへ帰って色々な人とたくさん話をし、リラクセスしたり大学や悩み事などから離れる時間を設けてくれていました。

じじの話

自分はじじのことが大好きです。理由は心が広くて常に優しく、自分よりも他人の事を最優先で考えて行動するからです。具体的には、冬になると毎日のように雪かきをするのですが、その際に自分の家よりも先に周りの3〜4軒の家の雪をかいてから最後に自分のところをやります。疑問に思ったので聞いてみると、「年寄りにやらせるのは可哀想だから、それなら俺らでやった方が早いし相手も喜ぶ。俺らも気持ちよくならないと、じじに似て素直だし人のために動くの好きなんだから、ぴったり合うと思うし楽しいと思うぞ」と言われて、自分は何も考えず行くことになりました。行くと決めてからすんごいワクワクしてききました。その理由は、自分が尊敬して居るじじが命懸けで時間をさいてまで守ってきた教会や信仰している宗教ってどんななんだろうってという疑問から、詳しく知りたいという興味が湧いてきたからです。



ちよくなるしいいべ」って言うていて、かっこいいなと思ってより尊敬が増しました。

修養科に入るきっかけは、1月の終わりに大学を辞めて北海道に帰ったのですが、今後の話などをしたら突然じじが、修養科行くかと提案してきて、何で？って聞くと、「俺に似て素直だし人のために動くの好きなんだから、ぴったり合おうと思うし楽しいと思うぞ」と言われて、自分は何も考えず行くことになりました。行くと決めてからすんごいワクワクしてききました。その理由は、自分が尊敬して居るじじが命懸けで時間をさいてまで守ってきた教会や信仰している宗教ってどんななんだろうってという疑問から、詳しく知りたいという興味が湧いてきたからです。

後日2人きりの時にじじから言われたのは、「何も迷わず行くって言ったのはきつと神様に引き寄せられてるからだよ。」って言われて、その時は理解できなかったけど、今は僕の今後の人生のヒントをもらえたような気がします。

ひのきしんと感謝

修養科ももう終盤ですが来て変わったところは、ひのきしんの捉え方や取り組み方と感謝の心です。捉え方や取り組み方については、来てすぐの時は都合の良い言葉だと思っていました。それが自分の捉え方の問題で、良く捉えることができれば、頼んできた人にとってめんどくさいことでも、勇んでやらせてもらうことで、その人にとっても助かるだろうし自分もありがたいという気持ちを持つようになれました。また、本当に困ってる人を見た時は、来る前までは、手伝ってあげたい気持ちはあるが何か気が引けてしまっていました。修養科に入ってから迷わずに手伝ってあげようという気持ちになりました。

感謝の心については、何事もありがたいと思えるようになってきた事です。心を入れ替えるきっかけを作ってくれた人や、感謝できない出来事に遭遇した時に、悪く捉えるのではなく、感謝の心を持てるような言葉をかけてくれた人もいました。修養科に来なければ、このことに気づくこともなかったし、小さなことにも感謝する心を持つこともできませんでした。これは天理教の中でだけでなく日常生活でも同じことが言えると思えました。修養科に来たおかげでこのような心に気づく事ができました。

今後については、修養科中の思ったことや感じた事を忘れずに、困っている人がいればすぐに助けられるような行動力を身につけたいです。また、じじ意外にも上級の会長さんをはじめ、主任先生やクラスのみんな、他にもたくさんの方のお世話になったので、仕事が休みの日があれば、何かひのきしんをさせてもらったり、月次祭などがあれば、自分から進んで教会に足を運びたいと思います。また、おぢばに帰ってくる機会があればみんなとゆっくり思い出話が出来たらいいです。

第40回 青年会 夕張分会総会

夏を感じさせる暑い一日。6月30日。大教会にて青年会夕張分会総会が開催された。記念すべき第40回の節目を迎えたこの総会には、藤崎勇委員長が委員長としての最後の総会となった。総会には36名の参加者が集った。久しぶりの参加となる会員もいて、勇んで総会をつとめた。

前日29日には前夜祭が開催され、たくさんの方々と賑やかな夜を過ごした。昨年同様に逆ビンゴ大会、格付けチェック大会を行い、大いに盛り上がった。格付けチェック大会では、チーム対抗で青年会や夕張大教会に関する問題や飲み物や音楽、書道の見極めなど多種多様な問題に挑戦し、ゲームを通して、絆を深め合った。

30日の朝には神名流しを行い、朝の陽気を浴びながら会員一同心を揃えて勇み立った。9時半より総会式が始まり、はじめに大教会長様の祝辞を頂いた。続く藤崎勇委員長のあいさつでは、DREAMS COME TRUEの楽曲『うれしい！楽しい！大好き！』を引用して、毎日の生活の中から嬉しいこと、楽しいこと、大好きなことを見つけようとお話をした。

その後、会員一同勇んで十二下りのおつとめまなびをつとめた。普段おつとめ衣を着る機会のない



会員や普段当たることのないお役に緊張していた会員もいたが、一同心を揃えて、活気ある勇んだおつとめをつとめた。

感話には、渡部佳太委員長が動画で登場し、自分の今の仕事や生活のことから悟ったことを語った。

お昼には、藤崎勇委員長監修のカレーを皆で頂いた。優しい甘口の味には青年会員はもちろん来て

くれていた少年会員も大満足だった。

大教会長様、奥様をはじめ、婦人会や女子青年の皆様にもご協力頂き、明るく陽気な総会となった。

中山大亮青年会会長様は5月26日発行の「あらいとよりよう295号」のあいさつの中で、天理教の強み

は人の温かさや教会のアウトホーム感にあることを実感したというエピソードがあった。青年会としてたくさんの方々が来なくなるような来て喜んでもらえるような活動を目指したい。

今年の青年会本部総会は、10月27日(日)開催。前夜祭も開催する予定であり、夕張分会としても昨年同様に模擬店の出店を検討している。この北の地からどこにも負けない熱い思いを持って、おちばへとかえらせていただきたい(高橋悟志) 思う。

庶務部 6月

- ▽お運び 26日
- 移転 美榮分教会
- ▽おさづけの理拝戴 6・18
- 修養科994期修了 6・27
- 松尾 柊斗 (継立)
- ▽登殿参列
- 峰延、理喜道、夕喜元、札美、大龍、北弘、新生、理の峰、美榮
- ▽をびや 1件
- ▽おまもり 2件

▽詰所教養掛
6月 岩佐善昭 (志加ノ谷)
高橋大志 (祝梅) 27〜30

新学生担当委員会 委員長紹介



志加ノ谷分教会長 岩佐善昭

6月25日、本部学生担当委員会より辞令交付され、前任の富山知一さんから岩佐善昭さんへ学生担当委員長が交代となりましたので、お知らせいたします。

にをいがけ実動について

- ◇活動報告
- 日時：6月30日 7時30分ころ
- 場所：大教会前交差点
- 参加人数：4名
- 内容：神名流し
- ◆次回以降実施予定
- 日時：7月31日 10時〜15時
- (変更) 8月23日 10時〜15時
- 集合場所：夕張大教会
- ※8月の日程が変更しておりますので、ご注意ください。皆様のご参加を心からお待ちしております。

大教会日誌抄

- 6月
- 1日 たすけ推進会議
- 4日 会長、支部例会、組例会
- 13日 会長、葬儀 14日
- 14日 婦人会例会、月次祭準備
- 15日 月次祭
- 21日 みちのだいの育み塾
- 22日 会長、おちばへ
- 23日 会長夫人 ままっふへ(教区婦人会)
- 24日 前真柱様十年祭、会長、本部神殿当番
- 26日 本部月次祭、遥拝式
- 27日 会長、かなめ会、帰会
- 29日 鼓笛練習日
- 30日 青年会夕張分会総会



6/25 回廊ひのきしん



6月登殿参列